

# News Letter

神奈川県聴覚障害者福祉センター

## きこえ支援情報館

No.4

発行/2021年5月1日 神奈川県聴覚障害者福祉センター補聴相談室 文責 大本純子

### 第1回コミュニケーション講座

北陸学院大学にお勤めで、神奈川県中途失聴・難聴者協会会員の勝谷紀子氏による体験談でした。健聴から難聴、そして人工内耳を装用するまで辿ってこられた経緯を段階に分けて考えたそうです。「きこえの問題が表面化しない時期」には、よくわからないことはとりあえず「うん」と答える技を身に着けた。「自分が難聴であることを開示することには抵抗があった時期」、「問題が表面化した時期」、「難聴に直面せざるを得なくなる時期」を経て、人工内耳装用者になるまでを細かく分析されています。

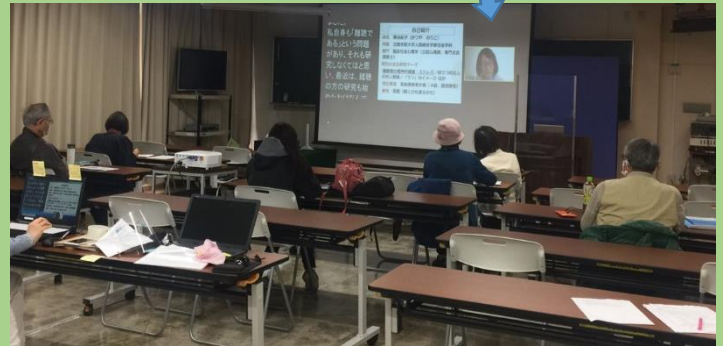
オーディトリー・ニューロパシーと診断され、身体障害者手帳を取得した。この病気と診断された時、ショックではなかった。きこえにくさの理由が分かって、腑に落ちた。やっと自分を説明できることばが見つかって

安心したそうです。それからは難聴を明かす抵抗感が低下したとのことでした。

ご自身が主催している「聞こえづらさをもつ同志で気持ちや知恵を共有する」きこえカフェのお話もありました。受講者の中には、自分の経緯と重なってとても共感した、周りに理解者がいなかった昔の自分が癒されたという感想がありました。

ご趣味の落語も一部披露していただき、楽しいひと時となりました。

会場参集とオンラインの併用開催



### 補聴相談室から

#### 耳垢は取ったほうがいいのか？

#### 取らなくていいの？

きこえや補聴器の相談を受けるなかで、耳掃除のことが頻繁に話題になります。多くの方が多かれ少なかれ自分でやっているという印象です。先日もきこえが以前より低下した方に耳鼻科受診をお勧めしました。すると、親指の先ほど（小指ではありません）の耳垢が取れたという報告がありました。聴力検査を再度やってみると聴力も少しよくなっていました。長年の耳垢が溜まっていたようです。これを聞くと、耳掃除はやったほうが良いように思いますが、日本耳鼻咽喉科学会の見解によると、「**耳掃除は医学的には不必要かつ危険な行為であることを認識してください**」とあります。耳垢は耳の奥で出る皮脂などの分泌物の他、鼓膜の表面が古くなって剥がれ落ちたもの。皮膚の再生に伴い、耳垢は自然に外に排出されるため、家庭で無理に取る必要はないとのこと。先ほどの方のように詰まっている方は、きちんと耳鼻科で取ってもらうのがいいでしょう。

引用 日本耳鼻咽喉科学会

[http://www.jibika.or.jp/citizens/kids\\_entqa/mimi\\_mimiaka.html](http://www.jibika.or.jp/citizens/kids_entqa/mimi_mimiaka.html)

### 第2回コミュニケーション講座のご案内

日時5月23日(日)10:00~12:00

テーマ:きこえの基礎知識

講師:国際医療福祉大学三田病院耳鼻咽喉科聴覚人工内耳センター准教授 高橋優宏氏  
会場参集とオンラインの併用で開催します。

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeLYJp7-xAE01OX05rFVe7MzVVKnOAnSB1OBhyDMigxMMurow/viewform>

にアクセスするか、上のQRコードでも申込できます。

電話(0466)27-1911/FAX(0466)27-1225

メール [soudan@kanagawa-wad.jp](mailto:soudan@kanagawa-wad.jp) 担当 大本



センター玄関を入り、正面にある壁をご覧になったことがあるだろうか。センター開設当初からあるこの壁は信楽焼で「協力して、しあわせをつかみとろう」というモチーフで創られています。構成は上の赤い部分があごを、下部の曲線部は指を(幸せの手話)、中央のスカイブルーは青空を表しているそうです。  
センター「5年のあゆみ」より